

これから
わたしたちの物語です



私たちが合宿で

気づいたこと!

It was fun
being able to
express myself
without fear of
embarrassment or
hesitation.

ともだちつく
た。たくさんゲ
ムやりました。

同世代で初めて自分を認めてくれる人に出会えた、人生で最高な3泊4日だった。

学校では発信しないのにここでは発信したくなった。

自分がほかの人と違っていてもいいんだ。

普通なんて存在しない。

自分が経験してこなかったことをバックグラウンドにもつ子とパフォーマンスをつくることで、自分のアイデアが新しいカタチに生まれかわる。

違うからいいんだ！

たくさんの個性のなかでアイデアがとびかって作品を作っていけるってすごく楽しい。

外国人と日本人の
違いは全くない。

見た目じゃない!

外国人のような顔でも生まれも育ちも日本だったり、逆に日本人のように見えても外国で育っていたりと、見た目と違う。

「やる」「言う」が大切。

違っていいんだ！

安心できる場所だった！

自分と似た境遇にいた人がいて少し安心した。

自分を隠さないで、ちゃんと自分を出せた。

違う意見を言っても、誰も否定しない。意見をぶつけあうことができた。

モノ運びや人形などさまざまな演技の種類があることを初めて知り、組み合わせることでおもしろいステージがつかれると思った。

演劇が楽しかった！

演劇に苦手意識しかもって
なかったけど、楽しかった。

何語で誰が何を言ってもいい環境だった。

ことばが通じなくても、演劇だと身体で表現するから理解してもらえた。

いろんな言語がある！

言語の壁はあっても、一緒に踊ったり遊んだり話したりすることができる。

日本語だけではなかった
のがよかった。

パフォーマンス合宿2018

期 間：2019年3月25日(月)～28日(木)
場 所：大学セミナーハウス(東京都八王子市)
参加者：日本に在住し、多様な文化的ルーツやルートをもつ高校生15名、
日本に在住し、多言語・多文化交流に興味をもつ高校生15名

2018年度も演劇的手法を取り入れたワークショップを中心に、さまざまなゲームや身体活動を通じて参加者間の交流を深めていきます。一人ひとりがもっている多様なことばにもっと着目した活動も組み込む予定です。3泊4日の合宿生活を通じて、自分の個性を開放し、仲間のよさを発見することで、自分を表現したり人と関わったりする自信がもてるようになります。（担当：長江春子）



パフォーマンス
合宿

このプログラムの写真：劉成吉



発表会

11:00-12:00



3 日め

グループの寸劇を中心にした
発表作品の構成を考える。



グループ全員の古い記憶を組み合わせてひとつの寸劇にする。楽しく見てもらうために場面転換をどうするのか、モノ運びや、人形ゲームなどを駆使しながらみんなで考える。



2 日め

いろいろな活動をしたあと、6人グループに
なり寸劇をつくる。



いちばん 古い記憶

6人グループになり、自分のいちばん古い記憶のシーンの絵を描き、グループ内で発表する。



人形ゲーム

ペアの一人が人形になり、もう一人がその人形の手足を動かして、おもしろい格好をつくる。



並び替え

「誕生日」「身長」「日本滞在年数」などお題に従ってお互いの情報を伝え合い、順番に並ぶ。



世界地図 づくり

床一面に白いテープで世界地図を描く。



しじみゲーム

3人グループで、両脇の2人は貝殻役、真ん中の1人は貝の身になって、「貝の身」とかけ声がかると、その役の人はいほかのグループに移って同じ役になる。



モノ運び

重さや大きさを頭の中で勝手にイメージしたモノを、ジェスチャーで次の人に伝えながら渡し、受け取った人はその重さや大きさを推理してまた次の人に渡す。

1 日め

みんなでゲームをしながらうちとける。



ペアになった相手の手の動きに操られてるように自分の身体を動かす。



ネームサイン

6人のグループに分かれて、名前の代わりに身体を使った自分のサインをつくる。グループごとにメンバー全員のネームサインを組み合わせ、作品にして発表。

日本で暮らしている、ルーツやルートを含め文化的バックグラウンドがさまざまな高校生が自己表現と創作活動を通じて交流するのが、多言語・多文化交流「パフォーマンス合宿」です。

参加したのは30名。彼らとつながりのある地域は、アメリカ、オーストラリア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、チリ、日本、バングラデシュ、フィリピン、フランス、ベトナム、ボリビア、香港、ロシア。ことばもさまざまな参加者は4日間寝食をともにしながら、演劇的手法を取り入れた活動を通じて互いの理解を深め、最終日には、みんなでつくりあげたパフォーマンス作品を発表しました。

2017年度事業データ

多言語・多文化交流「パフォーマンス合宿」

期間：2018/3/26(月)～29(木)、場所：大学セミナーハウス(東京都八王子市)、コーディネーター：田室寿見子(演劇ユニット Sin Titulo代表)、ファシリテーター：山田カイル(演出家)、わたなべなおこ(演出家)、河野悟(俳優)、田中圭介(劇作家、演出家)、菅原理子(ダンサー)、アシスタントファシリテーター：比嘉ニッコ(俳優)、参加者：日本に在住し、多様な文化的ルーツやルートをもち高校生、日本に在住し、多言語・多文化に興味をもつ高校生、計30名

住んでいた地域 ▶▶ いちばん古い記憶 ▶▶▶ 並び替え ▶▶▶▶ 将来行きたいところ、したいこと